

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品

◆ウチダの漢方製剤◆

ウチダの 柴胡清肝湯

サイコセイカントウ

ウチダの柴胡清肝湯は漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎じ薬で、特異な芳香があります。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
次の方は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の方は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
(4) 高齢者。
(5) 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(6) 次の症状のある人。
むくみ
(7) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
* 腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
6. 本剤の服用により、まれに症状が進行することもあるので、このような場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

を指します。

注2) 「るいれき」とは頸部リンパ節の結核を指します。

用法・用量

年齢	1日量
大人(13才以上)	1袋(1日分)につき水600mL(約3合3勺)を加え、あまり強くない火にかけ300mL(約1合7勺)に煮つめ、袋をとり出し、2~3回に分けて食前1時間または食間空腹時に温服する。
13才未満5才迄	大人の煎液の1/2量を2~3回に分けて食前1時間または食間空腹時に温服する。
5才未満	大人の煎液の1/3量を2~3回に分けて食前1時間または食間空腹時に温服する。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。

成分・分量

本品1袋中			
サイコ	2.0g	カロコン	1.5g
トウキ	1.5g	ハツカ	1.5g
シャクヤク	1.5g	カンゾウ	1.5g
センキュウ	1.5g	オウレン	1.5g
ジオウ	1.5g	オウゴン	1.5g
レンギョウ	1.5g	オウバク	1.5g
キキョウ	1.5g	サンシシ	1.5g
ゴボウシ	1.5g		

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社ウチダ和漢薬 お客様相談センター

TEL 03-3806-4141

受付時間 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なる場合がありますが、効能・効果にかわりはありません。

効能・効果

虚弱者、小児腺病体質^{注1)}者およびこれらに伴う次の諸症
肺門リンパ腺炎、頸部リンパ腺炎、扁桃腺肥大、アデノイド、
るいれき^{注2)}、神経症

注1) 「腺病体質」とは貧血などになりやすい虚弱・無力体質



株式会社 ウチダ和漢薬

* 東京都荒川区東日暮里 4-3-3